



システム設定の概要

- システムの設定について, 1 ページ
- 構成ツールの概要, 1 ページ
- システム設定のハイレベルなフロー, 4 ページ

システムの設定について

このドキュメントには、コール制御システムを設定するために実行が必要なタスクについての情報が記載されています。タスクフロー、手順、前提条件などの情報が含まれています。

システムの計画については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-implementation-design-guides-list.html>を参照してください。

構成ツールの概要

このガイドの手順では、次の2つの構成ツールを使用する必要があります。

- Cisco Unified CM の管理
- Cisco Unified Serviceability

この章では、ツールとそれらにアクセスする方法について簡単に説明します。

Cisco Unified CM の管理

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] は、Unified Communications Manager ノードの設定を個別に手動で変更できる Web ベースのアプリケーションです。このガイドでは、このアプリケーションを使用して機能を設定する手順について説明します。

一括設定タスクを実行する必要があり、設定プロセスを自動化する場合には、Cisco Unified Communications Manager 一括管理ツール (BAT) を使用して、多数の設定変更を同時に実行できます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>) を参照してください。

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] へのログイン

次の手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。Cisco Unified Communications Manager Administration にログインした後、ウィンドウに Cisco Unified Communications Manager の現在の状況を示すメッセージが表示されることがあります。たとえば、Cisco Unified Communications Manager で次の状況が確認されることがあります。

- Cisco Unified Communications Manager は現在、スターター (デモ) ライセンスで動作しているので、適切なライセンス ファイルをアップロードします。
- Cisco Unified Communications Manager は、現在、ライセンス数が不足している状態なので、追加のライセンス ファイルをアップロードしてください。
- Cisco Unified Communications Manager は現在、適切なソフトウェア機能のライセンスを使用していません。この状況では、Cisco CallManager サービスは停止し、適切なソフトウェアバージョンのライセンスをアップロードして Cisco CallManager サービスを再起動するまで開始しません。

次の手順でサーバを参照して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。

手順

-
- ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。
- ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。
`https://<Unified CM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`
ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。
(注) オプションで、ポート番号を指定できます。
- ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 4** [Cisco Unified Communications Manager Administration] ウィンドウで、Cisco Unified Communications Manager のインストール時に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします (両方のフィールドの内容をクリアするには [リセット (Reset)] をクリックします)。
(注) セキュリティ上の理由で、無活動状態が 30 分続くと Cisco Unified Communications Manager Administration はユーザをログアウトするので、ログインしなおす必要があります。
-

Cisco Unified Communications Manager Serviceability

このガイドの一部の手順では、Cisco Unified Communications Manager ノードでサービスを開始または再開するために Cisco Unified Serviceability アプリケーションを使用する必要があります。

Web ベースのトラブルシューティング ツールである Cisco Unified Serviceability は次の機能を提供します。

- トラブルシューティング用にアラームとイベントを保存し、アラームメッセージの定義を提供する。
- トレース情報を、トラブルシューティング用にログ ファイル保存します。
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (Unified RTMT) を使用して、コンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。
- ユーザによる、またはユーザ処理の結果としてのシステムの設定変更を記録することによって、監査機能を提供します。この機能は、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection の情報保証機能をサポートします。
- [サービスの開始 (Service Activation)] ウィンドウによりアクティブ化、非アクティブ化、および表示を行うことができる機能サービスを提供します。
- 日次レポート (警告サマリーやサーバ統計レポートなど) の生成とアーカイブ。
- Cisco Unified Communications Manager、IM and Presence Service、Cisco Unity Connection が、シンプル ネットワーク管理プロトコル (SNMP) のリモート管理およびトラブルシューティングの管理対象デバイスとして機能できるようにします。
- 1つのノード (またはクラスタ内のすべてのノード) のログパーティションのディスク使用をモニタします。
- システム内のスレッドとプロセスの数をモニタする。キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- Cisco Unified Communications Manager のみ : Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting を使用して、サービス品質、トラフィック、請求情報の Cisco Unified Communications Manager レポートを生成します。

Cisco Unified Communications Manager Serviceability にログイン

次の手順で、Cisco Unified Serviceability にログインします。

手順

- ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。
- ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。
`https://<Unified CM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

- ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 4** [Unified Communications Manager Administration] ウィンドウで、ナビゲーションメニューから [シスコ統合保守性 (Cisco Unified Serviceability)] を選択します。
- ステップ 5** Cisco Unified Communications Manager のインストール中に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします。
(注) セキュリティ目的で、30 分間無活動状態が続くとログアウトされ、ログインし直す必要があります。

システム設定のハイレベルなフロー

次の順序でシステム設定を実行します。この手順は、共通システムコンポーネントグループの設定に関するセクションとリンクしています。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	初期設定タスク フロー	ライセンス、サーバ情報、デバイス プール、ポート設定などのシステムの初期パラメータを設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 2	着信コールと発信コールの設定	ゲートウェイおよび存続可能なリモートテレフォニーシステムを設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 3	ダイヤル プラン設定	ルートプラン、ハントパイロット変換、URI ダイヤルなどのダイヤルプラン要素を設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 4	コールアドミッション制御の構成	コールアドミッション制御を設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 5	End User Configuration	役割やアクセスコントロールグループを設定したり、エンドユーザとそのプロファイルを設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 6	エンドポイント デバイス設定	アナログ電話アダプタ (ATA) 、Cisco IP Phone、サードパーティ製 SIP 電話機、ソフトウェアベースのエンドポイントなどのエンドポイント デバイスを設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。ここでは、エン

	コマンドまたはアクション	目的
		ドポイント デバイスのテンプレートおよびプロファイルの設定方法や Cisco IP Phone の診断およびレポートを有効にする方法についても説明します。
ステップ 7	アプリケーションの統合	CTI アプリケーション、Cisco Unity Connection、Cisco IM and Presence サービス、Unified Contact Center Enterprise および Express、Cisco TelePresence などのその他のアプリケーションと連動するように Cisco Unified Communications Manager を設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 8	メディア リソースの設定	音声およびビデオ リソース、アナンシエータ、トランスコーダ、メディアターミネーションポイント、および会議ブリッジを設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 9	デバイスの登録	エンドポイント デバイスを自動または手動で登録するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。
ステップ 10	応用的なコール処理の設定	コールをアドバタイズする方法、キューに入れる方法、抑制する方法など、コール制御を設定するには、ガイドのこの部分の設定を実行します。ここでは、論理パーティショニング、発信側の正規化、地理位置情報の伝達、自動代替ルーティング (AAR)、および Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の設定方法についても説明します。
ステップ 11	Cisco Unified Communications Manager の TCP と UDP ポートの使用に関する概要 IM and Presence サービス ポートの使用方法の概要	ガイドのこの部分では、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスでクラスタ内接続や外部アプリケーションまたは外部デバイスとの通信に使用されるポートについて説明します。

